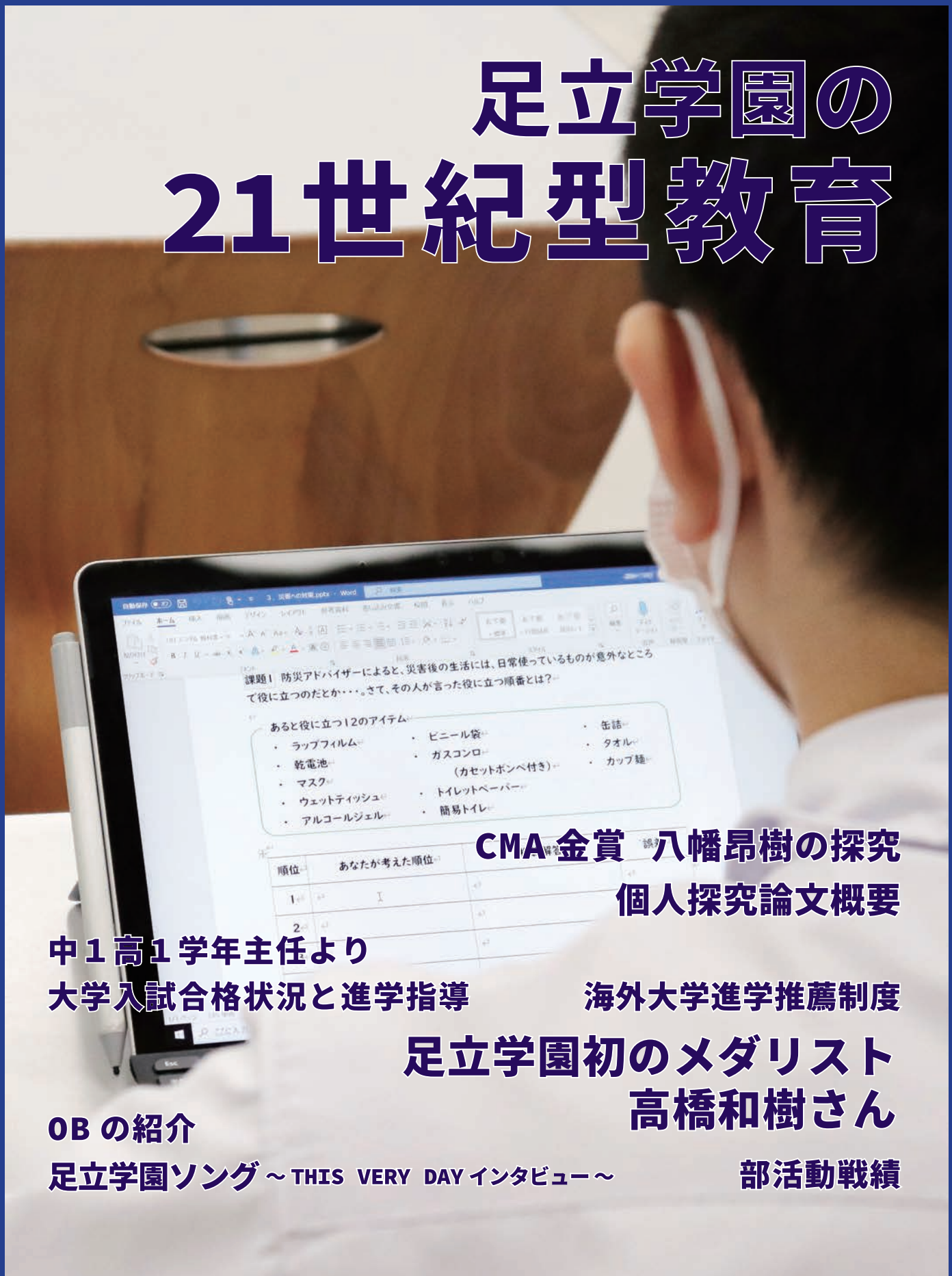
足立の教育

足立学園中学校・高等学校　広報誌

No.53



足立学園の21世紀型教育

CMA金賞　八幡昂樹の探究
個人探究論文概要

中１高１学年主任より
大学入試合格状況と進学指導

海外大学進学推薦制度

足立学園初のメダリスト
高橋和樹さん

OBの紹介

足立学園ソング～THIS VERY DAYインタビュー～

部活動戦績

学園創立 100 周年を見据えた私の方針

足立学園中学校・高等学校
理事長　初鹿野　恵太郎

昭和４年にスタートした当学園も、７年余りで、創立100 周年を迎えます。理事長室の壁に立派な額が掲げてあり、それは昭和天皇による「お言葉」で昭和 27 年 10 月 23 日付で「私立学校には経済上幾多の困難があると思いますが、私立学校は大切なものでありますから、使命達成の為、皆努力される事を希望します」とあります。陛下が戦後間もない当時から、私学にも温かな心を配ってくださった事に感謝申し上げ、そして現在がある事を若い教員にも伝えながら、今後の学園発展に努力したいと思います。

ところで、まだ完全に終息はしていませんが、突然発生した新型コロナウイルスが２年以上に渡り世界中に、そして日本でも全国に蔓延し、多くの感染者及び死者も出ました。コロナは世の中の在り方を一変させました。学園においても感染防止対策を徹底するも、数人の陽性者が出ましたが特に大事に至らなく安心しました。しかし色々な学園行事が延期や中止となり、生徒達には大変申し訳なく、心苦しさの連続でした。今後の５年後、10 年後が予測のつかない変化の時代になってしまいました。また、地球温暖化により各地の気温や海水温も年々上昇し過去に経験した事の無い大型の台風や集中豪雨等、想定外の自然災害リスクも各地で増加しています。我々学園で最も重要な事は生徒を守る事だと思います。今後どんな環境になっても生徒には常に“希望”や“志”を持ち、多様性をもった強い対応力や適応力を発揮出来る人間になる事を望んでいます。

中学生や高校生は思春期であり成長期でもあります。この時期こそ教員が生徒１人１人に適切な指導をする事により生徒もスイッチが入りやる気が出てくる事と思います。また、友人や先輩との交流も様々な面でステップアップに繋がると思います。オンライン授業も有意義な事だったと思います。今後は正解の無い時代が予想され、自らの心から湧き出る学びの意欲をさらに喚起するような教育が生徒には大切だと考えます。

現在、最も懸念している事は、少子化問題です。令和２年度は日本では８４万人の新生児が誕生しましたが、これは戦後最少であり、令和３年度は 80 万人を割る予想となっており、私学としては最大の心配事であります。学園の対策として、同窓会の活性化や地元、地域に対し更に深く社会貢献を進め存在感を示していきます。地縁、人縁は特に重要と考え大事にしていきたいです。今後も教育業界も IT を中心として、益々進化すると思いますが、その都度、創立当時の協力頂いた多くの地元の皆様や創立関係者の苦労を忘れてはいけません。よって、学園の教職員全員が常に研鑽し生徒の信頼に答える為、教員も探究心を持ち、先端教育を取り入れ実践し、社会で活躍出来る人間性豊かな生徒を育てる事が学園の発展に繋がると考えています。

これからの時代に求められる資質・能力を培うために

足立学園中学校・高等学校
校長　井上 実

規格化された製品の大量生産・消費が成長を支える工業中心の時代から、より高度な情報・知識に基づいた多様で付加価値の高い製品・サービスの提供が成長を支える時代に入っています。インターネットの出現は、人間の知識創造とコミュニケーションの在り方に革命的な進歩をもたらしました。今後、さらに周囲のあらゆるものがネットワークに繋がり、自律的に情報の処理・交換等を行い、新たなサービスや価値を生み出していくことでしょう。コンピュータの性能は飛躍的に進歩し、近い将来、様々な労働が機械に置き換わるだけでなく、頭脳労働の一部が人工知能に代替されたり、高度な分野において人工知能が人間のパートナーになったりする時代が訪れると考えられます。2045 年には人工知能が人間の能力を上回る技術的な転換点が訪れるという予測もあり、私達の仕事、生活に常識を覆すような変化がもたらされる可能性があります。

経済活動においては、国境は希薄となり国内で仕事や生活をしていても、グローバル化の波は一人一人に押し寄せてきます。こうした社会の変化の中を生き抜くために、人間に求められる能力も変わり続けることが不可避であり、教育の在り方も当然変わっていかなくてはなりません。一人一人の個性を尊重し、個々の才能に合わせて多様な教育を提供していくことも重要です。このような課題を認識し、これからの時代を生きる人達に必要な資質とは何であるか、その資質を教育によっていかに培っていくのかを考えていくことが重要です。

そのような予測不能な近未来において、求められる力とはどのようなものでしょうか。新たな領域を切り開き、付加価値を生み出し、人々の生活の向上や社会の発展をもたらしていくためには、「解決されていない課題を発見し、提起していく」ことが必要です。課題とは理想とする状態と現状との差のことであり、課題発見には、まず、高い志を抱くことが不可欠です。これはコンピュータや人工知能がどんなに発達しても、人間にしかできないことです。これまでの教育では、与えられた課題を解決する能力を志向してきましたが、これからは、志をもって、主体的に学び「なぜ、そうなるのか」を考え、課題を発見する能力を高めることが重要です。また、課題解決にあたっては、他者と協力して対応しなければならない場合もあり、リーダーシップや責任感、さらには、相手に説明し納得してもらう論理性や人の心を動かすプレゼンテーション能力を養うことも不可欠です。

また、未知の課題に挑み、解決策を生み出すためには、既存の概念にとらわれない創造的な発想力や企画力、直観力が必要です。これを身につけるためには、慣れ親しんだ環境から離れ、失敗を恐れず、未知の場に飛び出して、発想を拡げる経験の積み重ねが不可欠であり、果敢に挑むチャレンジ精神とともに、強い忍耐力を養っていくことが求められます。その為には、すべての生徒達の可能性を信じ、その潜在的な能力を引き出す営みを通じて、心に火を点し、高い志とともに自己肯定感を醸成していくことが重要です。さらには異才、異能の人材を発掘し、その才能を社会に変革をもたらす可能性があるものとして伸ばすことも重要です。

このように予測不能な近未来において、本校の生徒達が人類貢献・社会貢献を成し遂げるためには、基礎学力やより高度な学力を身につけるとともに、様々な人間力を培うことが求められていると強く感じています。

足立学園の「21世紀型」教育

―ICT 活用教育、探究総合、海外研修・留学。足立学園の２１世紀型教育はそれだけじゃない

2014 年から導入が始まった ICT 活用教育。2018 年度から始まった探究総合の授業。以前から実施していたイギリス語学研修に加え、2019 年 3 月に最初の留学生を送り出したターム留学。21 世紀型教育というとぱっと出てくる代表的な事例はこれらですが、足立学園ではそれだけにとどまりません。

足立学園の教育の根幹となる「志共育」

本校が掲げる「志共育」。これは教育再生実行連絡協議会、松下政経塾と連携し行っているプログラムです。世のため人のために活躍できる人材（人財）となるべく「志」を立てます。志は SDGs17 種類のどれかにつながります。自らの志を他人へ伝え、共有し、目標に邁進するということは、自己肯定感を高め、生涯にわたって前向きに、やりがいをもって生きていくことに繋がります。「志（ゆめ）なき者に成功なし」を合言葉に、自分の志は何か、それを達成するためにどう生きたらいいのかを考え、将来への道標とします。

品格あるたくましい男子の為の「紳士教育」

中学 2，3 年生を対象に「いのちの授業」を行っています。助産師である講師をお招きし、性の話、いのちの誕生の話から自分を大切にする、他人を大切にすることを学びます。出産のドキュメンタリー映像を見たり、ロールプレイングで相手がどういう気持ちになるかを体験したり、性の知識をゲーム形式で学びます。高校 1，2 年生ではデート DV について専門家から学びます。男女交際だけでなく、他人と自分との関わり方を見直します。

自分の権利を知る「主権者教育」

足立区選挙管理委員会の協力の元、翌年から選挙権を得る高校 2 年生が模擬選挙を体験します。若年層の選挙離れが叫ばれる中、自らが持つ「投票の権利」の重さを学びます。また、中学・高校の生徒会選挙も行われています。立候補者は自分が学校に対して抱いている思いや変えたい事を投票権を持つ全校生徒に伝えます。コロナ禍で立会演説会から事前に動画撮影し、編集したものを電子黒板で見て投票する形になりました。

”現場の仕事”を体験する「企業インターン」

中学生で実施している企業インターンでは、誰でも一度は目にしたことのある大手企業から指令をいただき、それに対して調査・議論し、まとめてプレゼンテーションを行います。企業側は若者ならではの視点やアイデアを得ることができ、生徒側は指令に対しての向き合い方、伝え方を学びます。プレゼンテーション後は各企業の方から直接評価をしていただきます。授業では味わえない「現場の仕事」を体験できる貴重な機会です。（→ P6 特集ページ）

教科ごとに実践する「21世紀型」授業の取り組み

新聞や雑誌、WEB ニュースなどでよく目にするようになった「21 世紀型教育」と呼ばれる教育方針は、大まかに言えば、従来の暗記・詰込み型の受け身の学習から、自ら考え、周りと共有し、自分の意見を伝えるという学習にチェンジするというものです。足立学園では ICT 導入と同じくしてアクティブラーニングやプレゼンテーション、レポート作成といったアウトプットの学習も取り入れてきました。

国語

電子黒板やタブレット、プロジェクターをツールとして、効率的かつ幅広い学びを実現します。グループワークなどの授業形態を通じて主体的・対話的な学びの能力を養います。探究総合で身に着けた論理力を武器に、深い思考を実現する文章を書くといった表現力の向上を目指します。

数学

自学自習のできる生徒の育成が目標です。習うのではなく、自分の意志で学習し、発想力を向上させられるように、アクティブラーニングなどを活用し、指導しています。 主に電子黒板を活用して説明することにより、書く時間を省略し、聞くことに集中できる授業を展開することで、生徒の理解度を上げていきます。

地歴公民

勉強したことは実際の生活に使えなければ意味がない。公民はもちろん、地理や歴史もただ学ぶだけでなく、今の生活に活かしたい。
アクティブラーニング型授業や ICT の活用で、ただ教わるだけでなく生徒が主体的に学ぶ授業を行います。

理科

五感をフル活用してさまざまな自然現象に触れ、「好奇心」という学びの芽を育みます。また、実験では、様々な自然現象に語りかけ、返ってきた答えが実験結果。成功、失敗を問わず考える力を鍛えます。そしてレポート作成やプレゼンテーションなどを通じ、わかりやすく人に伝える力を身につけます。

英語

「読む」「書く」「聞く」「話す」の４技能を伸ばすために授業の取り組みを変えています。さまざまな活動とそれに対する評価を行うことで、生徒の英語力を伸ばします。高校での英会話の授業は、探究コースは必修、文理・総合コースは希望制で週２時間行っています。中学では基礎的技術の習得を目指します。

情報

トライアル＆エラーの精神で失敗を恐れず、積極的に取り組む姿勢を大事にします。ICT と情報デザイン能力を身につけ、明日からでも社会で活躍できる人材（人財）になることを目標としています。Microsoft365 と AdobeCreativeCloud を最大限活用し、常に新しい学びを体験し、共育しています。

体育

運動を通して各領域の特性や魅力に応じた楽しさや喜びを味わうことを目的としています。生徒の競技レベルに合わせて段階を追って授業を行っています。各競技の特性を理解し、基本的な動きを身に付けられるよう、生徒へアプローチしています。

芸術

芸術を楽しむための素養として、基礎的な技術の会得、深く鑑賞することによる知識の獲得、作品や技の発表による成果の確認を段階的に実施します。そうすることで自分の成長を実感しながら次の目標へ到達しようとする意欲を高められるように工夫しています。

中学 企業インターン

本校で初めて中学校３年生が「企業インターン」体験を行うようになってから今年で９年目。今年度の学園祭で「企業インターン」の中間発表を行いました。本校の企業インターンの一端をご紹介します。

企業インターンワークで企業から出されている指令の一覧など

全社共通指令

●身の回りにある自社の製品、サービスを探そう ●利用されているシーンを複数見つけよう ●会社について周囲に聞いてみよう

明治

明治ミルクプロテインの力を使った中高生の健康なカラダづくりを応援する新商品を企画・提案すること！

江崎グリコ

“With コロナ時代”にも変わらず「おいしさと健康」を世界に届けるために活躍できる、新入社員採用の広報企画を提案すること！

ローソン

マチの“ほっと”ステーションとしてさらに進化するために、自分達の学校とローソンが協同して取り組む「小学生を笑顔にする社会貢献活動」を企画・提案すること！

森永乳業

“日本初のビフィズス菌”で世界の人たちのヘルス＆ビューティーを促進するSNSを活用したＰＲ企画を提案すること！

大塚製薬

世界中の人々を感染症の脅威から守るための、独創的な製品・サービスを企画提案すること！

ＫＤＤＩ

地域の挑戦を“５Ｇ×ＩＣＴ”で支える、中高生とＫＤＤＩが共同で実施する「地方創生の新サービス」を企画・提案すること！

企業インターンをやってみた生徒の声

・普段、自分の身の回りにある食べ物を作っている会社が他にもいろんな事業をしていることを知って、驚いた。また、知らないことを知れて、班の皆と協力して発表の準備ができて良かった。
・一つの商品が開発されるまでにはいろいろな段階をおいてできるのだということを知った
・今まで目にしていた企業のキャラクターなどにどんな由来があるか、企業にどんな歴史があるのかを学べて、興味深かった。
など

教員の声

・指令に対するアイディアを考えることはもちろん、必要な調査やプレゼンの準備などを全て生徒達が行いました。教員としては、ついロを出したくなりますが、本当に自分たちの力で企画からプレゼンまで行うという経験は、生徒たちにとって貴重な経験になったと思います。
・普段の授業では見られない、生徒が主体的に調べ、発表する姿が見られてとても驚きました。今までの生活の中では見られなかった新しい生徒の個性や特技が見られて、嬉しかったです。
など

Microsoft Showcase School と MIEE

足立学園が Microsoft Showcase School に認定されたのは 2020 年 3 月。このプログラムは世界中の小中学校、高校で Microsoft の定めるルーブリックに則り、ICT 先進校として認定された学校に贈られるものです。

足立学園は ICT 教育の取り組みを始めた 2015 年より、子どもたちが将来社会に出てからもスキルを活用できることを見据え、Office365（現 Microsoft365）を授業やホームルームに取り入れてきました。コロナ禍においてもそれは有効に作用し、今では毎朝の検温を記録するアプリ、授業ごとに用意された Teams チャネル、課題、教員や生徒間のコミュニケーションを円滑にするチャット。科目によっては小テストや、生徒や保護者の希望をヒアリングするために Forms を使用しています。特別な授業だけでなく、英語や国語でも PowerPoint を使ったプレゼンテーションを作成してまとめを行ったりと日常的に活用しています。

足立学園で当たり前のように行われているこれらを、他校で導入の際に協力させていただいています。

2021 年度、Microsoft 認定教育イノベーターエキスパート（通称 MIEE）に認定された教職員が 28 名となりました。MIEE に認定されると、Microsoft が主催する毎月の情報交換オンライン会議に参加したり、他校の MIEE を持つ先生方と情報交換ができたり、海外の MIEE のいる学校と交流を持つこともできます。足立学園は日本で一番多い MIEE が在席する学校です。先生方が日常的に行っている授業方法や取り組みを情報発信し、他の教育者と共有することで足立学園としての ICT スキルもパワーアップしていきます。また、本校に勤務されている講師の矢地先生が MIEE 認定に引き続き、Microsoft Certified Educator の認定を取得されました。

Adobe Creative Cloud と AEL

2022 年度の情報 I の授業に向け、AdobeCreativeCloud を採用しました。Adobe XD を使い、防災アプリケーションの UI（ユーザーインターフェース、操作画面）を作成するという事を取り入れました。この様子は Adobe 社のブログや教育情報サイト リセマムに詳しく取材していただきました。今年度は Adobe Spark というアプリを使い、Microsoft365 で使用できる個人アイコンの作成などを行っています。

また、本校情報科主任の杉山先生が世界で 300 名ほど、日本では 26 名の Adobe Education Leader に認定されました。

Adobe XD で高校生がアプリのプロトタイプを制作～「情報 I 」の新内容に対応した授業案「防災アプリを作ろう」を足立学園で実施
https://blog.adobe.com/jp/publish/2021/03/24/cc-education-xd-highschool-lessonplan-adachigakuen

Microsoft Surface × Adobe XD が創造力を養う協働学習を実現…足立学園の取組み
https://resemom.jp/article/2021/03/18/61023.html

第3回 Change Maker Awards 個人部門金賞受賞

八幡 昂樹の探究

自分の力で開発した技術を英語で世界に発信し、
世界中の技術者と協力し合えるようになれたらうれしい

アメリカで８か月を過ごした後、足立学園に帰ってきた彼が選んだ探究テーマは「自動運転について」。

高校３年、探究コースに所属する八幡君は、足立学園でも稀な「2 回留学をした」生徒です。I 度目は中学３年生の夏休みに３週間。２度目は高校 I 年生の２学期から２年生の４月にコロナ禍で帰国せざるを得なくなるまでの８か月間でした。どれも学校の留学プログラムではなく個人的に参加したといいます。その最初の留学でプログラミングに触れる機会があり、帰国後もコツコツと学びを深めてきました。中学時代はバスケットボール部に所属し、部長も務めていた傍らでというのですから、彼の興味･関心･好奇心に真っ直ぐ向き合う姿勢は大人でも舌を巻きます。

高校に進学し、探究コースの課題探究では継続して「自動運転について」をテーマに探究活動を続けました。先行研究や文献などを読み、理解を深め、考察を深めていきました。それだけでなくラジコンカーを使ってプログラムを組み、実際に走らせて記録を取り続けました。そしてゼミ内でのポスターセッション、論文の執筆とまとめにも余念がなかったといいます。弁論大会のテーマでも「自動運転について」を選び、発表はただ一人英語で行いました。それは彼にとって目立ちたいとか、見せつけたいとかそういう事ではなく、見据えた将来へ必要なものとして自然と選択した事だったのだろうと思います。

彼にとって中学３年生で芽生えたプログラミングへの興味は高校生活を通した探究活動へと昇華しました。それは学校での教育が上手くいったということではなく、個人の資質と家庭での教育環境の賜物と言えるでしょう。それでも彼はCMA金賞受賞についての取材にこう答えました。

―「金賞受賞を聞いたときに、協力してくださった先生方に恩を返せたかなと思った。」

学校として彼に支援したのは、彼が研究に使用するラジコンカーの購入に際し、校長にプレゼンテーションを行って承認され支給された費用、そして担当教員として研究を支えた担任の渡辺裕多先生をはじめとした教員の指導とサポートです。ＣＭＡ応募に関しては英語スピーチのサポートとして山本文子先生、演技表現力指導として清田由紀先生も協力しました。「生徒が全力でやりたいことがあり、支援の手を求めるなら学校も全力で応える」のが足立学園の教育です。勉強ができる生徒だから支援した、スポーツに長けているから協力をしたということではなく、志をもって成し遂げたい事への挑戦を誰よりも応援し、できる限りの事をする。生徒第一主義、生徒が主体性を持つ教育を体現してくれたのが八幡君だったのでは、と思っています。

次は君の番です。燻っている「やりたい事」を、先生に、学校にぶつけてみてほしいと思います。

「自動運転車の開発―ラジコンを使って実装―」　八幡昂樹　論文概要

要旨：自動運転技術は運転によるストレスを完全になくし、交通事故もゼロにする夢のような技術である。この探究活動では機械に運転を任せることの利点や自動運転技術の仕組みを調査し、実際にラジコンを用いて自動運転車を制作した。自動運転車の実装は多くの企業が大量の研究費を投入するほど難易度が高い分野ではあるが、自分の手で実現することで貴重な気付きを得ることが出来た。

序論（抜粋）：自動運転技術は人々を運転というストレスから解放することで様々な交通関係のトラブルを解決し、快適で安全な交通システムを構築する技術である。自動運転車に惹かれ、実際に自動運動に関するオンラインコースを受講し仮想環境上の道路で車を自動運転させるプログラムを書いた。探究活動では、完璧に安全な自動運転車を作るという志に一歩近づくため、小さいスケールであるラジコンカーでの自動運転車の実現に挑戦した。

本論（抜粋）：事故への不安、イライラ、眠気など様々な原因、人間に寄与するすべての問題を抜本的に解決するためには運転という行為そのものを機械に任せるのが重要であると考えた。なぜ運転を機械に代替することがストレス を無くすことに直結するのだろうか。自動車事故要因の大多数を占めるのは、ハンドル操作ミスによるもので43%にも上り、次に多い急ブレーキが20%であった。しかし、重要なことはいずれも人的要因によるものだということである。事故の殆どが、運転者がミスを誘発しやすい人間であるがゆえに発生するものであり、これを避けようと常に神経をとがらせて運転しているからストレスが心の中で蓄積されていく。つまり、人間は運転する義務を機械に託することで諸事故の劇的な減少につながり、精神的苦痛から解放されるのである。

自動運転技術には画像認識、GPS、レーダー など最先端の技術をフル活用しているが、今回私が作成した自動走行ラジコンカーは画像認識技術をベースにしている。これにより道路のレーンや標識を分析、学習し正しく走行できるようになる。私が実践したのは、道路のレーンを模倣したものをつくり、ラジコンに画像データとタイヤの角度のデータを取得させながら周回した事である。そして AI 技術と相性が良い Python というプログラミング言語を使いディープラーニングを用いてコンピュータに学習させた。自動走行ラジコンカーで使用したパーツは日本では入手不可なのでアメリカから輸入した。この自動運転車のブレインとして機能するコンピュータはラズベリーパイとよばれる教育目的で開発された手のひらサイズのコンピュータである。 難所である組み立てとソフトウェアの設定に約一か月を使い、やっとデータ集めの段階に入る。ラジコンを自動で走らせるためのコースを作り、10 周程度手動で走行させる。その際にラジコンにマウントされているカメラでドライブレコーダのように走行過程を画像で撮影する。 10 周程度で約 5000 枚の画像が入手できる。この画像データセットをプログラムに与え、ディープラーニングを使い写真の道路レーンの特徴を分析させる。この操作が繰り返されることでコンピュータは新しい走行データからも道路の位置を判別することが出来るようになる。3 ヶ月ほど続いたラジコンによる自動運転車製作プロジェクトは成功した。

結論および考察（抜粋）：自動運転にはソフトウェア関連だけではなく、バッテリーやパソコン本体などの知識や技術も必要だと気付いた。人の命を預けられる自動運転車を実現させるにはソフトウェア、ハードウェア両分野の高い技術力が合わさって出来上がるものだと実感した。

個人探究論文概要

温度差を利用する発電

―ゼーベック効果と化学電池―

髙野泰生（2020 年度足立学園高等学校　2 年 A 組 20 番）

要旨

温度差発電とは、温度の差を用いて、熱エネルギーを電気エネルギーへ変換するものである。この発電もまた、太陽光発電や風力発電のような、再生可能エネルギーとして利用することが可能であると推測される。本研究では、ゼーベック効果を使った太陽光発電、液体の場合ゼーベック効果が確認できるのか、という主題のもと、実験を行い、温度差がなくとも発電ができる可能性を見出した。

本論文では、第一部で研究背景を述べ、第二部では理論、またこれに付随する理論について、第三部では実際に行った実験の詳細・考察、そして第四章で結論を記した。

はじめに　※一部抜粋

温度を電気に変えられるかもしれない―近年、石油や石炭のような、CO_2 が発生するもしくは、資源の限りの見えている燃料の消費を抑える社会の傾向がある。持続可能な社会を構築するために、太陽光や風のような再生可能なエネルギーを用いた発電の開発が顕著となった。そこで、身近にあり、かつ無駄になっているエネルギーはないかを探し、気温などの熱について着目した。近年、地球温暖化の影響により気温の上昇を訴えるニュースが見受けられるようになったが、この熱エネルギーを電気エネルギーに効率的に変換することが可能となることで、道路に使われているアスファルトで太陽光を熱に変換した後、電気エネルギーとして取り出すことや、地熱、ごみの燃焼時の熱、というような応用が見込める。

結論

本論では、ペルチェ素子と太陽光を使った発電について、液体の場合に温度差を設けるとゼーベック効果は起こるのかについて、試料同士の接する面積によって抵抗が変化するのかについて述べた。結果としてはそれぞれ発電は可能であるが効率が悪い。温度の高さによって電圧が変わり、固体に比べゼーベック効果は顕著には確認できない。接する面積が小さくなると抵抗が大きくなる、となった。

実験の際、より詳しい条件の設定と、より多くのデータを集めるという作業が少し欠けていた。

本論文では、実験の結果から温度を駆動部位無しに電気にでき、固体のみでなく、液体もその作用に使え、温度差がなくともその効果が得られる可能性があると結論付けた。

図 2.2 実験 2 の装置

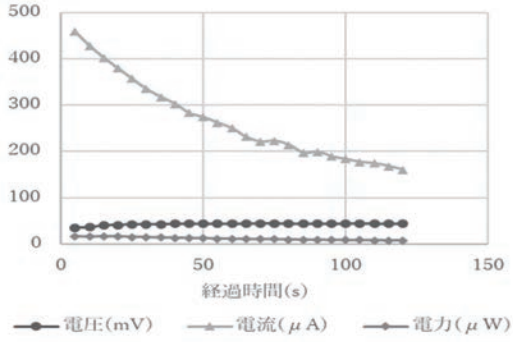


図 2.3　組み合わせ I における
経過時間と電圧，電流，電力の関係

なぜ日本人はノーベル経済学賞を取れないのか？

――経済学にある４つの要因とその解決策――

金野巧（2020 年度足立学園高等学校　2 年 A 組 11 番）

要旨

Japan is recognized as a country which has produced numbers of Nobel Prize winners in multiple fields of study.　Nevertheless, there is a field in which Japanese people have never been awarded ― economics.

There is a vicious circle going on: with no prize, people will be less and less interested in economy and, as a result, economists will struggle for research funding, which will lead to fewer chances of winning the prize.

To prevent that, Japanese people need to figure out why they have not been able to win the prize and what solution is vital for them to get over it.

There are four major causes for the problem to deal with.　Each has a solution that will bring about development in the field of economics in Japan.

序論　※一部抜粋

現在、日本では 25 人のノーベル賞受賞者がいるが、ノーベル経済学賞受賞者は 0 である。つまり、日本はノーベル経済学賞を取ったことがないということになる。

私は受賞の分野にこのような偏りが生じることで、様々な問題が生じてしまうと考える。例えば、2019 年のようにノーベル化学賞を日本人が受賞したとすると、国内の化学の研究に対する関心は高まる。すると、化学の研究に対してより多くの資金投資などを獲得できるようになり論文数が増えていき、さらにノーベル化学賞を受賞する可能性は高まっていく。

《中略》

しかし、そのようにして日本人が受賞した学問への関心が高まる一方で経済学などの受賞が少ない学問への関心は低くなってしまうのではないだろうか。このように国民からの注目が低くなってしまうことで、その学問に対する資金投資額が少なくなり、ひいては論文数の減少につながる。そして、論文数が減ると人々の関心がより低くなっていき、さらに国内のその学問の研究力が下がっていく「学問の負のスパイラル」のような連鎖状態が起こってしまうと考える。

結論および考察　※一部抜粋

日本人がノーベル経済学賞を取れない要因として前述の考察をあらためてまとめると、四つの要因が考えられる。１つ目の要因として、日本の受験制度に起因する問題があり、その解決策として大学受験における入試制度の多様化、主に数学などの理系科目の導入を挙げた。２つ目の要因として、現代のノーベル経済学賞の受賞傾向に多いゲーム理論を始めとする数学的な要素を含む理論など、多様な分野を専門とする学者が少ないという問題点があった。その解決策として、海外から多様な分野を専攻する専門家・教授や、日本の理系学科に属する統計学者などの受け入れがより多く必要であり、また、海外からの受け入れには現状以上に語学力が必要であると考えた。３つ目の要因としては、日本人が旧来から持つ考え方、特に、「経済学」分野固有の資格がないことから学生からのニーズが下がっている可能性及び日本人が持つ「お金についての話は宜しくない」と考える傾向を指摘した。その解決策として、経済学の専門性を問う資格を創設する案、また、アメリカで実施されているようにお金についての学びを国語・算数などの主要科目に含め若者のお金に関する関心を集める案を考えた。最後に、４つ目の要因として、経済学における日本の学界・産業界と日本の教育機関が大きく乖離しており、両者による共同研究がなされていないという問題点を挙げた。そして、この問題を産学連携という形で解決することで教授や学生の経済学に対する認識が大幅に広まると考えた。

個人探究論文概要

主体的に勉強するには

兎澤瑛仁（2020 年度足立学園高等学校　2 年 B 組 15 番）

要旨

主体的に勉強できるようにするにはどうしたら良いのだろうか。私はこの目標を達成するために、成長マインドセットを活用して主体的に勉強する方法を考えることにした。成長マインドセットとはどのようなものなのか。さらに、成長マインドセットを持つことの重要性と持つための方法についてこの探究では述べている。

1．序論（目的、背景、先行研究）

※一部抜粋

私は勉強が好きではなく、難関私立や国公立の大学に行きたいという考えを持ちつつも日頃から勉強に集中することができない。これは受験に対する危機感の薄さ、つまりまだ大丈夫だろうという軽い気持ちが今の自分を作っていると考える。そこで主体的に勉強するためにはこのような勉強に対する考え方を変える必要があるのではないかと考えた。

2. 本論（方法、実験、結果）

※一部抜粋

最初に何のために勉強をしているのか考えた。私は今まで目的もないまま、先生にやれと言われ国民の義務としてやらされているからやっているだけであった。しかし、いろいろ考えた結果、私の中での勉強をやる意義は「自分を成長させ、知識を基に豊かに生きるため」という結論に至った。これからの時代、AI に仕事を奪われ、新しい仕事が増えていく中で、替えの利かない人間が生き残るのではないかと私は考えている。そのためには知らないことに出会ったときに立ち向かって失敗したとしても、そこから学ぶことが大事だと思うのだが、そのとき立ち向かうのか、逃げだすのかは今まで自分がどう生きてきたかで変わると考える。

《中略》

私だけに限らず、受験には強い精神力が必要とされる。そこで私はマインドセットについて注目した。マインドセットとは人が持っている価値観や、信念、心の在り方のことである。

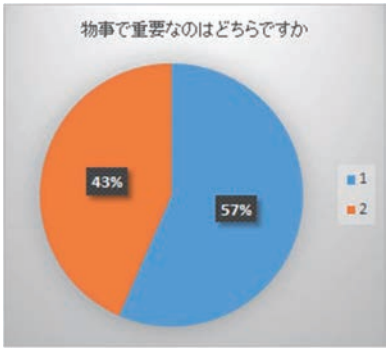
3. 結論および考察　※一部抜粋

ここまで成長マインドセットに変えるための方法を述べてきたが、改めて言えるのは硬直マインドセットから成長マインドセットを変えることは容易ではない、ということである。そして変えるために、今まで恐れてきた挑戦や批判、挫折などをすべて受け入れなくてはならない。

4. 今後の展望

思考や信念というものがどれほど強力なものなのかについてもっと詳しく調べてみたい。人の内側に存在する目に見えないものとして、外的な影響で上下するやる気や、自分の内側から湧き上がってくる情熱についても調べてみたい。

アンケート④



青(57%)：物事で重要なのは結果である。
オレンジ(43%)：物事で重要なのは過程である。

探究２期目を迎えて

授業研究係

○探究コースの成り立ち

2030 年には、総人口の３割が 65 歳以上となる一方で、生産年齢人口は総人口の６割に減少するという予測。日本の国際的な存在感が低下するという予測。 子供たちの 65%は将来、今は存在していない職業に就くという予測。 様々な予測が話題になる中で、果たして実際の未来はいかなるものになるのでしょうか。

この「予測不可能な未来」を生きる子どもたちが、自らの力で逞しく、幸せな人生を生き抜くことができるような教育を考え、本校では４年前より東京都で初となる「探究コース」を設置しました。

○２期目を迎えて

探究コース２期生は８分野の専門からどの分野について探究活動を行うか、希望を出して４～５人ほどのゼミに分かれるところからスタートしました。この「ゼミ」制度は今年度から取り入れられたものです。２期生の探究活動の変化の大きな特徴はこの「ゼミ」制度と、１期生の「先輩」がいたことです。２期生のうちの中入生は中学３年次に１期生の探究活動の様子を見ており、「探究」というもののイメージを持って「探究」の授業に取り組み始めることができる生徒がおりました。また、ゼミ制度を導入したことにより、１期生の先輩に様々なアドバイスをもらった２期生は今度自分が探究活動で学んだことを３期生にも伝えてくれました。これにより、二つの効果があったと思います。一つ目は後輩たちが先輩の背中を見てイメージや具体的な方法などを持ちながら探究活動を行えたことです。そして、二つ目は先輩たちも後輩ができたことで、アドバイスをしながら、自分の探究活動を客観視したり、「探究活動における先輩」のアイデンティティを持てたりしたことです。

探究活動はゼミを選んだあとにまず自分が何を「好き」なのか、と自分を掘り下げることが重要です。最初持っていた自分の「やりたいこと」が探究活動を通して、内容を深め、突き詰めていくと、今まで気付かなかった「自分」を発見します。生徒の中には内容を深めることで別の「やりたいこと」に気づき、途中でゼミを変えた生徒もおりました。探究活動の途中で軌道修正を行い、とにかく自分の「知りたい」という気持ちを体現していくことが大切なことです。自分の「知りたい」ことを知る、つまり、自分の学んでいくテーマを決めることこそ、探究活動の最大の肝なのです。

この活動方法や探究の精神を様々な経験と苦労をしながら学んだ２期生たちがまた本校を卒業していった後、それぞれの進路でどのようにまた自分の学ぶべきものを決めて努力していくか楽しみです。

○今後の探究活動

探究論文を自らの進路と結び付けて受験に臨み、大学受験の武器として活用する生徒が増加傾向にあります。昨今の総合型選抜や公募制推薦の拡充における現状から、探究本来の意味合いと進路実現が高い次元で融合し、生徒にとって本当に価値ある探究活動となる次の道標を、２期生が明らかにしてくれました。

「好き」を大切にする、とことん深める。これが自分の「知りたい」「聞きたい」という気持ちを生み出し、探究活動を通して他の授業に対しても「主体性」を持って勉強できるようになった生徒がいました。他の人の探究活動を見て、自分の探究活動のヒントにし、学びを深められた生徒もおりました。今後、探究活動を通して、勉強はもちろん学校生活全般に自らの意志と力をもって活動できる生徒が出てくることを期待したいと思います。また我々教職員も研鑽を積んでいきたいと思います。

高校１年生探究の CM コンテスト発表会のようす

令和３年度大学入試合格状況と本校の進学指導

進路指導部長　三浦智美

1．卒業生数における現役合格者と比率

表１は、過去６年間の卒業生数と各大学グループの現役合格者数・比率です。卒業生数は毎年異なるため、合格比率に着目すると過年度比較がしやすいかと思います。今年度の卒業生の合格状況は、国公立大で 5.9%となり、昨年度並みの合格率を堅持しました。また私立大では最難関である早慶上理グループでは 12.6%で、過去６年間では２番目に高く、GMARCH グループでは 29．７%で、過去６年間では最も高い合格率となりました。ここ数年、定員厳格化などの影響で厳しい入試が続いていましたが、生徒達の努力が実を結び、多くの合格を出すことができました。

大学別では、早稲田大学 10 名、慶應義塾大学７名、明治大学 23 名などで健闘が目立ちます。また、総合型選抜において東京工業大学、慶應義塾大学に合格しました。これらは一部のコース・生徒の活躍によるものだけではなく、総合コースなどからも国公立大や GMARCH に合格するなど、各コースですばらしい結果を残しています。この学年から「３コース制」「アラカルト授業」「課題探究、進路探究の授業」など新たな試みが導入されており、これらの取り組みが合格実績にもつながっていると考えます。

表１　卒業生数における現役合格者と比率

入試年度	卒業生数	国公立		早慶上理		GMARCH	
		合格者数	比率	合格者数	比率	合格者数	比率
R３年度	239	14	5.9%	30	12.6%	71	29.7%
R２年度	289	17	5.9%	13	4.5%	50	17.3%
H31 年度	364	11	3.0%	33	9.1%	58	15.9%
H30 年度	341	21	6.2%	45	13.2%	68	19.9%
H29 年度	317	18	5.7%	40	12.6%	85	26.8%
H28 年度	303	13	4.3%	24	7.9%	89	29.4%

表２　主な国公立大学・私立大学合格者数　（）内現役合格者

筑波大学	１（１）	青山学院大学	８（８）
埼玉大学	１（１）	学習院大学	１７（１３）
千葉大学	２（１）	慶応義塾大学	９（７）
東京学芸大学	２（１）	上智大学	１（１）
東京工業大学	２（１）	中央大学	１６（１０）
東京農工大学	１（１）	東京理科大学	１３（１２）
一橋大学	１（１）	法政大学	１７（１４）
金沢大学	１（１）	明治大学	２４（２３）
九州大学	１	立教大学	５（３）
鹿児島大学	１（１）	早稲田大学	１１（１０）

2．本校の進学指導

本校では、生徒たちに「将来、志を達成し、社会に貢献できる人材として活躍してほしい」という願いを持っています。彼らがそれを達成するには長い年月が必要であり、大学進学はその一つの通過点です。しかしそれは、重要な通過点であると捉えています。その先にある志を達成できるために「早期に目標を持てる指導」「実力を養成できる指導」を２本柱としています。

「早期に目標を持てる指導」として、高１で「キャリアデザイン講演会」を実施し、10 年先、50 年先の自分について具体的なイメージを持たせます。社会人 OB を招いての懇談会や、マイナビによる「適学適職診断・講演会」も行います。また「夢ナビライブ」（10 月・今年度オンライン開催）にも全員で参加します。これは文部科学省後援の国内最大級の進学イベントで、300 以上もある講義から自分が興味・関心を持つ学問分野について受講できます。「大学で学びたいことが見つかった」「将来のなりたい職業と大学での学びがつながった」等、生徒からも好評です。高２以降では、大学生 OB による講演会、国公立進学ガイダンス、各大学による校内説明会などを実施し、それぞれの希望進路に合った、より具体的な指導を行っています。さらに、各大学のオープンキャンパス（オンライン開催含む）への参加を強く推奨し、体験を通じて生徒の進学意識を高め、主体的に自らの進路を決定できるよう促しています。これらの経験や気づき・学びをすべてポートフォリオへ蓄積し、振り返りを行うことで、生徒たちのより大きな成長をはかります。

「実力を養成する指導」では、まずは授業を基本とし、各コースに応じた効率的なカリキュラムときめ細やかな指導で基礎学力の徹底をはかります。それに加えて夏期進学講習や高３直前ゼミ、高３国公立２次試験対策講座（すべて無料）を行い、実践力を養います。特に、高２以降の講座は科目別・レベル別に設置され、生徒が自分の実力などに応じて自由に選択することができるようにしています。また、本校の生徒たちは主体的に学習に取り組む者が多く、生徒からのニーズに対しては大いに応えていく所存です。このような 「主体的に学ぶ生徒の育成」に重きをおいた指導をさらに続けてまいります。

3．学校推薦型選抜（指定校制）について

学校推薦型選抜(指定校制)については､表３のように慶應義塾大学、青山学院大学、上智大学、東京理科大学、中央大学、明治大学など約 140 大学 350 名分の推薦枠があります。高１から高３までの評定平均値や推薦共通テスト、模擬試験の結果等を踏まえて、校内選考を行います。

令和４年度入試より､マレーシアの３つの大学指定校に加わる予定です。
- ●ウーロンゴン大学マレーシア校（本校はオーストラリア）
- ●テイラーズ大学（マレーシア最古の私立大）
- ●インティ大学（米 UCLA やコーネル大への編入可能）

表３　主な指定校推薦枠

大　学	学　部
青山学院	法
学 習 院	法・文・国際社会科・理
慶應義塾	理工
上　　智	理工
中　　央	総合政策・商・理工
東京理科	工・理工・理・先進工・経営
同 志 社	商
明　　治	経営・理工

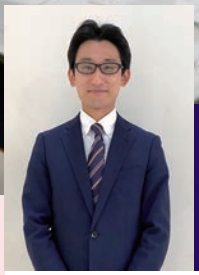
海外大学への進学　UPAA と UPAS

足立学園では海外大学への進学希望者の増加に伴い、UPAA（海外協定大学推薦制度）と UPAS(海外大学進学協定校推薦入試制度）に加入しました。これまでは受験生が独自で調べ、手続きを行ってきましたが、学校を通して出願することができるようになりました。また、この制度を利用すると日本の大学との併願も可能になります。また、今までは海外大学に進学するときは、数年現地の語学学校に通ってから受験するのが通例でしたが、UPAA では高い英語力を持っていることを条件に進学しますので直接海外大学に現役合格という形で進学する事が出来ます。UPAS を利用する場合は、語学力に不安がある場合、英語コースの受講からスタートすることができます。

UPAA 協定大学

大学名（英語表記）	大学名（日本語表記）	所在地
University of East Anglia	イーストアングリア大学	英　イングランド　ノリッジ
University of Exeter	エクセター大学	英　イングランド　エクセター
Queen's University Belfast	クィーンズ大学ベルファスト	英　北アイルランド　ベルファスト
University of Stirling	スターリング大学	英　スコットランド　スターリング
Newcastle University	ニューカッスル大学	英 イングランド　ニューカッスルアポンタイン
The University of Manchester	マンチェスター大学	英　イングランド　マンチェスター
Manchester Metropolitan University	マンチェスター メトロポリタン大学	英　イングランド　マンチェスター
City, University of London	ロンドン大学シティ	英　イングランド　ロンドン
The University of Alabama at Birmingham	アラバマ大学バーミンハム校（州立）	米　アラバマ州　バーミンハム
Illinois State University	イリノイ州立大学	米　イリノイ州　ブルーミントン・ノーマル
Oregon State University	オレゴン州立大学	米　オレゴン州　コーバリス
Colorado State University	コロラド州立大学	米　コロラド州　フォートコリン
Suffolk University Boston	サフォーク大学（私立）	米　マサチューセッツ州　ボストン
George Mason University	ジョージメイソン大学（州立）	米　バージニア州　フェアファックス
Saint Louis University	セントルイス大学（私立）	米　ミズリー州　セントルイス
Drew University	ドゥルー大学（私立）	米　ニュージャージー州　マディソン
Hofstra University	ホフストラ大学	米　ニューヨーク州　ヘンプステッド
University of South Florida	南フロリダ大学（州立）	米　フロリダ州　タンパ

UPAS は 70 以上の大学、アメリカ・カナダ・イギリス・オーストラリアが協定校です。
具体的な大学名については学校ホームページの海外進学ページをご覧ください。



高校 1年生　学年主任　飯山泰介

「生徒の輝き」

今年は、４月８日に入学式を挙行することができました。さわやかな新緑の風が吹き、澄み切った青空の広がる心地よい一日であったことが、今でも鮮明に思い出されます。受付周辺では、担任の先生が変わったことに驚く中入生、中学で担任をしていた生徒との会話を楽しむ先生方の姿が見えます。高入生は、緊張の面持ちで名簿を確認する、仲の良い家族同士で一緒に登校する、部活動顧問に挨拶をするなど、新しい環境に踏み出す一歩が様々な形で見られました。入学式終了後、６階のホームルーム教室まで息を切らせながら移動し、担任の先生と級友が初々しく顔を合わせます。それぞれの志を胸に、2021 年度の学校生活が始まった瞬間でした。

その後、感染症予防対策の影響を受けながら、学校生活は一進一退を繰り返します。学園祭の開催も危ぶまれましたが、実行委員の生徒たちの周到な準備と各クラスの創意工夫により、人と人の交流が活発な学園祭になりました。

Ｉ組の企画で手にした“うまい棒”を、制服の胸ポケットに４本詰め込み嬉しそうに歩く中学生は、どこか誇らしげな様子です。Ｈ組のお化け屋敷とＧ組の迷路は、待機列が出来る盛況ぶりです。教室内の配置、企画・運営に気合を感じます。廊下に並ぶ女子高生と懸命に話をする姿もほほえましく映ります。Ｆ組のダーツはシンプルな設定が故に、参加者の意欲をかきたてられる仕掛けが秀逸です。Ｅ組は、学園祭の常識を覆す「まくら投げ」を企画し、レスリング場に来た人たちを懐かしい世界に引き込みました。Ｄ組のストラック・アウトは、40 代男性教員２人による白熱した投球を、生徒が盛り立ててくれるお膳立て付きです。Ｃ組では昔懐かしい駄菓子が工夫して陳列され、思わず買い込む人が後を絶ちません。Ｂ組の射的は大人気スポットになり、親子連れの方々（特にお父様）も楽しく撃ち続けます。Ａ組は景品にも工夫が凝らしてあり、中学生が大挙して押し寄せる熱狂ぶりでした。いずれのクラスも小さなお子様には寄り添い、保護者の方にはわかりやすくルールを説明するていねいな接客が印象に残ります。中学生が思い切り楽しめる環境も整っているため、６階の廊下は笑顔と笑い声が絶えない一日となりました。

次の目標は、校外学習の成功です。

学校が用意する宿と交通手段以外は、生徒の企画・運営に委ねられる高校ならではの行事です。２年次の修学旅行の前哨戦という位置づけでもあります。そのため、先日行われた旅行委員会の会議では、自分事としてとらえる姿勢で情報を共有し、積極的な質疑応答が繰り広げられました。事前の現地下見についても、旅行委員自らが学園側へ交渉し、代表生徒５名が実施する運びとなりました。同行する教員は見守るのみです。動き始めたばかりですが、期待を感じさせる意識の高さと行動力です。

今後も、ますます輝きを放って活躍する生徒たちから目が離せません。

中学1年生　学年主任　原　匠

「with コロナの中学１年生」

1964 年の東京オリンピック閉会式の最後に「SAYONARA」の文字が大型ビジョンに映しだされてから 50 余年が過ぎ、２０２０東京オリンピックでは「ARIGATO」の文字が際立った。新型コロナウイルスの影響によりオリンピックは１年延期となっての開催となった。教育現場でも甚大なる影響を受け、入学時期はこれまでの学年暦に合わせて進んでいるが、多くの行事が変更、延期、中止となり、合わせて感染予防対策など日々の生活も多くの制約を受けている。

この４月に入学した中学１年生は 186 名。一人一人が個性にあふれた生徒たちである。昨年度とは異なり入学式はできたものの、学年当初に予定されていたオリエンテーション宿泊校外学習は延期となった。その後も強歩大会の延期、緊急事態宣言下における 40 分短縮授業、学年集会といった大人数で集まる形式のものは全て Microsoft Teams を利用したオンライン形式での実施など非日常の日々であった。さらには、日頃よりマスクの常時着用、いわゆる「3 密」の回避、昼食時には前を向いて「黙食」と、地元足立区を始め、東京都、千葉県、埼玉県など近隣都県から集まった子どもたちは共に交友関係を深めることもままならぬ学校生活を過ごした。

この社会情勢を反映してか、子どもたちに見られる特徴がいくつかあった。その１つに、子どもたちが友達の名前を覚えないことがある。マスクをしていると一人一人の顔の区別がつきづらい。私自身もそうである。昼食時にマスクを外して黙食している子どもたちの顔を見ると、折角覚えた子どもの名前が振り出しから覚えなおさないといけないくらい印象が異なる。教師がこうであるので、マスクを外した顔を見る機会のない子ども同士はなおさらであろう。４月のオリエンテーションでエンカウンターが実施できなかったことも大きいのだが、子どもたちは友達を「〇〇さん」と呼ぶ。変によそよそしい印象を受けたのを記憶している。

４月、５月は色々とあった。色々とは良いことよりも悪いことの方が多かったのだが、学年団の先生方、また学校全体の温かいサポートもあり、一つ一つのことに対応できたと思っている。その甲斐あって、６月の中間考査以降、小学７年生であった子どもたちがようやく中学１年生になったと感じている。中間考査以降も悪いことがなくなったわけではないが、日々成長している子どもたちから我々も遣り甲斐と元気をもらっている。子どもたちは新型コロナウイルスによる制限を強いられながらも思い思いの夏を過ごしたのだろう。この１か月の成長は大きい。そして、今度は中学１年生から足立学園中学１年生となるように本格的に活動していくときである。創立 90 数年の足立学園の良さを引き継ぎ、東京オリンピックやパラリンピックで活躍した選手の方々のように時代の流れに合わせ日々修練し、自らの夢の実現と世のため人のためになりうる人間性溢れる青年の涵養に尽力していきたい。今後も保護者の方を始め、教職員、PTA、足立学園関係者のみなさまには温かく見守って頂きたいと願ってやまない。

本校 OB の平田圭さんが代表取締役を務める株式会社 LITORY。所属アーティストであるロックバンド THIS VERY DAY がこの度、『足立学園ソング』として楽曲「Shine Adachi Gakuen」を提供してくださいました。THIS VERY DAY と足立学園の出会い、そして楽曲への想いを伺いました。

足立学園の初めての印象、そして楽曲提供へ

――この度、足立学園への楽曲提供、ありがとうございました。THIS VERY DAY(以下ディスベリ) と足立学園の出会いは、ディスベリさんの楽曲「タイムカプセル」の MV 撮影で本校を使用されたのが最初ですが、初めて足立学園に来たときのことで覚えてらっしゃることはありますか？

Yuji　まず、生徒さんがすごく礼儀正しいなと思いました。僕らが体育館に移動するときに廊下を歩いていたのですが、ベンチに座っていた生徒さんが立ち上がって挨拶してくださいました。あと、到着したときに体育館がわからなくて、３人組の生徒に聞いたら案内してくれたのですが、鍵が閉まっていました。でもその３人の男の子たちが必死に開けようとしてくれたり、先生を呼びに行ってくれたり、入れる場所を探したりしてくれて、すごく優しいいい子だなぁと思ったのが第一印象でした。

――改めて今回ご提供いただいた『Shine Adachi Gakuen』のコンセプトやテーマについて教えてください。

Yuji　今回は何よりコロナ禍ということがあり、修学旅行、部活動や学園祭など全部イベントが無くなっていると伺いました。自分の学生時代を振り返るとあの頃の経験が今の自分の活力になっていたりするのに、今の高校生や昨年の卒業生は新型コロナウイルスに奪われてしまっている現状は、すごく辛かったと思うし、悲しい、悔しい気持ちがあると思います。でも、人生の中でも 10 代半ばという大事な時期にこういう辛い経験をしたからこそ、きっと未来はこの経験が光に変わるよ、強さに変わるよという「祈り」と「願い」と「応援」の気持ちを込めて書きました。足立学園の生徒一人一人が未来に輝いていけるようにと「Shine（光、輝き）」という言葉をタイトルに付けました。

コロナ禍でバンドや自分が失ったもの

――サビの部分「失った想いはいつか　強さに変わる」がまさしくディスベリさんから足立学園の生徒への祈り、願いの象徴的なところだと思いますが、ご自身やバンドで、このコロナ禍で失ったものとか、失ったからこそ強みになったものはありますか？

Ryoga　僕の場合は親戚がコロナ禍で職を失ったり、亡くなってしまったりしたんです。でも会いに行くこともできず、今まであったものというか、普段当たり前だと思っていたものが消えてしまうという体験をしました。その中でこの『Shine Adachi Gakuen』ができたことで、僕自身もすごく助けられました。

リーダーでドラムの Ryoga さん

Yuji　バンドとしては、最初のミニアルバムが出るというタイミングで、全国への流通も決まり各地でライブやイベントもやっていくぞ！となった時期が 2020 年３月でした。その直後に第１回の緊急事態宣言が出てから、ずっと活動自体を制限されてしまいました。決まっていたイベントは全部なくなってしまったし、ソールドアウトしていたライブも、予定していたツ

ボーカルで作詞作曲をしたYujiさん

アーも全部なくなってしまい、またゼロから始めるのか、という気持ちにもなりました。でも、この時代だからこそ伝わる音楽、信じた音楽、僕たちがやっている音楽というのも意味があるんじゃないかなと思っていて。実体験や本音をすべて表現するバンドですので、コロナ禍から始まったバンドとして、こういう時代でも信じていけば絶対素敵な未来があるというのを音楽にして、これからの活動で証明していけたらと思っています。

高校球児からバンドマンへ、強い「志（こころざし）」

――Yujiさんにお伺いしたいのですが、高校生まで野球に打ち込んでいらっしゃったとのことで、強豪校でいわゆる高校球児だったそうですが、野球からピアノやボーカルにチェンジしたのはどういう経緯があったのでしょうか？

Yuji　もともと家族がピアノを習っていた流れで僕も小さい時から習っていました。ただピアノは正直好きじゃなかったので続きませんでした。僕自身はスポーツで野球をやってプロ野球選手を目指すぞと思っていたので、中学高校と、とある野球の強豪校に進学しました。その中でクラブの上下関係や監督コーチが厳しくて限界を迎えてしまったことがあって、一度逃げ出したんです。引っ越しのバイトをしながら「このまま野球辞めるのかな」って思っていました。その時友人に初めてバンドのライブに誘われて行ったんです。その時の衝撃が、もうすごくて。やりたいことに対して熱さを持っていて、観客の心をつかんでいる姿を見て「よし、俺はもう野球は捨てて音楽やろう！」と思いました。でも、よくよく考えたら、小さい時から今まで野球という大切にしていた夢があったのに、高校３年間はきちんと頑張らないと、将来音楽で人の背中を押したり、希望を与えたりとかってできないのではないか、今は逃げているだけじゃないかって思いました。頭を下げて「もう１回やらせてください」と懇願し、クラブに戻らせてもらいました。そこからは甲子園を目指して頑張っていたのですが、高校２年生の時にスポーツ障害になってしまい、ピッチャーだったのに投げられなくなってしまって。あの時は本当に「すべてを失った」という気持ちになりました。今でもすごく心に残っている経験です。その時に「今のこの想いを音楽に乗せて伝える」という決意ができました。

今まで野球だけで、歌といえば「カラオケに行く」くらいでしたので、何もできずに、仲間も見つからずにいました。でも覚悟ができていたので諦めませんでした。歌も家族や友人から「下手すぎだからやめろ」と言われた時期もありました。それでも「想いを歌にしてのせたい」と強く思っていたので必死に歌も練習し、ピアノもまた再度練習し直して、やったことがなかった作詞作曲にも挑戦し、今ここまで来たという感じです。周りからは「よくそこまで努力したね」と言われるのですが、僕自身は努力と思ってはいないです。下手と言われて悔しい気持ちがありながらも、音楽はとにかく楽しくて、やっているうちに身についてきたので、苦労したとも思っていません。

――『Shine Adachi Gakuen』のMV撮影では生徒や先生と触れ合う場面がありましたが、話したりしてみての印象はいかがでしたか？

Ryoga　先生はみなさんとても熱血ですよね。ほかの学校ではあまりいないな、と思います。僕の出身校でもこういう先生たちっていなかったんじゃないかなって思います。

Yuji　本当に熱くて、生徒の応援もそうだし、僕らのこういうプロジェクトにも全面協力で、熱い気持ちで盛り上げてくれようとしてくださって、刺激にもなったし嬉しかったです。職員室に行かせていただいた時も「いいね！」と話してくれた先生もいらっしゃって。気さくですごくうれしかったです。自分の学生時代に仲が良かった、ちょっと変わった、でも大好きだった先生がいましたが、その先生みたいな人がたくさんいるのが足立学園だなと思いました。本当にメンバーみんなでびっくりしました。人柄の良さというか、「通いたいなぁ」と思える学校です。

THIS VERY DAYの「志（こころざし）」

――ありがとうございます。そう言っていただけるとうれしいです。では、本校は「志（こころざし）」を育むことに力を入れている学校なのですが、お二人の志を教えてください。

Ryoga　僕は音楽を始めたきっかけが、Yujiと同じで、部活動でサッカーをしていた時に自分の限界を感じてしまって落ち込んでいた時に音楽に出会いました。ライブの映像とかを観て、人を感動で泣かせるくらいのライブとか素敵だな、こうなりたいなと思って始めたので、今も変わらず、見た人を笑顔にしたり、感動させたり元気にさせたりすることをディスベリの音楽でやっていきたいと思っています。特にドラムはバンドを支える役目なので、他の楽器がガンガンやっていけるように、安心して後ろを任せてもらえるように頑張っています。

Yuji　僕は「誰もが自分らしく歩める世界」というのが目標なんです。日本だけじゃなくて将来的には世界中、できればロックの文化が浸透していない発展途上国とかにも行って、子どもたちに夢を与えられる、音楽を通じて一緒に夢をもって歩んでいけるようになるのが僕の志です。大きいステージや有名になりたいというよりも、目の前の人が僕らの音楽をきっかけに少しずつでも一歩でも前に進めたら、というのが僕らにとっての夢ですね。そのためにもまずは日本でできることをやろう、頑張ろうと思って活動しています。

――最後に生徒へのメッセージをお願いします。

Ryoga　コロナ禍の中で、なかなか安心できない状況で、つい暗くなりがちだと思うのですが、その中でも、僕たちの音楽を聴いて、希望となる「光」を見つけてくれたらうれしいなと思っています。

Yuji　夢を持っている人は、周りからいろいろ言われたり現実を考えたりしてしまうと思うのですが、自分が思うように進んでいってほしいと思います。いまいち夢がわからない、自分がわからないという人は、そういう気持ちになることも大事だし、悔しさや不安も大切に持ちながら「自分の信じた方」に一歩進んでほしいなと思います。一緒に未来に向かって歩んでいきましょう。

取材日：2021年７月

THIS VERY DAY データ

本校OBが代表を務める音楽制作会社LITORY所属アーティスト。
2019年８月１日、東京にて結成したロックバンド。「挫折」と「希望」をコンセプトに、人が生きる上で経験する様々な感情に寄り添える楽曲を手掛ける。
ピアノの旋律にパワフルなサウンドのジャンルレス新世代ロックバンド！ この新感覚ジャンルがバンド界隈で「新しい！」と絶賛され、耳に残るメロディと共感を得られる歌詞がティーンを中心に支持されている。
メンバーはVo.『Yuji』、Gt.『Kohta』、Gt.『DieGo』、Ba.『SHiN』、Dr.『Ryoga』
2021年７月21日に２枚目のアルバム「VICTORY」をリリース。
『Shine Adachi Gakuen』はAppleMusic、Spotifyなどデジタル配信のみ。
ライブ日程などは　https://www.thisveryday.net/　またはSNSに掲載。
Twitter @THISVERYDAY_jp　Instagram @thisveryday_jp/

OB の 大活躍

足立学園史上初のパラリンピックメダリスト誕生！

ボッチャ BC3 ペア　銀メダル　高橋 和樹さん

Photo by Naoki Nishimura/AFLO SPORT

■プロフィール
高橋　和樹（たかはし　かずき）
平成 11 年度卒業生。埼玉県草加市出身。
幼少期から柔道を始め、足立学園中学校に入学。高校２年生の時に遠征試合中のケガで頸椎を損傷し、車いすの生活となる。1 年の休学の後、卒業し、大学へ進学。卒業後は NPO 法人にて働いていた。
ボッチャを始めたのは 2014 年、東京パラリンピックの招致が決まった翌年からであったが、2015 年には日本選手権で優勝。2016 年には世界選手権で準優勝を果たす。　2016 年リオパラリンピックに出場。結果は予選リーグ敗退となり、これを機に練習環境を整えるため転職。
2019 年日本選手権準優勝。2019 年、2021 年アジア・オセアニア地区選手権で BC3 ペアで準優勝。
かねてからの目標だった 2021 年東京 2020 パラリンピック代表の座を勝ち取り、出場。BC3 ペアで銀メダル獲得。草加市民栄誉賞受賞。
アシスタントは 2015 年より峠田佑志郎氏が務めている。2019 年にホームヘルパーの資格を取得し、高橋選手の生活面も支えている。

◆高橋さんからのメッセージ

無観客開催ではありましたが、様々な形でたくさんの応援が届き、私の力になりました。
これまでのボッチャを始めて７年間、本当にたくさんのサポートを受け支えていただけたおかげでメダルを獲得することができました。全ての皆様に感謝いたします！
また、コロナ禍で苦しい生活をされている方も多い中で最高の舞台に立たせていただいたことに感謝の気持ちでいっぱいです。

選手村に入っていた２週間、たくさんの人からの想いを感じることがありました。1 番身近で感じられたのはボランティアの皆様です。毎日暑くても雨が降っていても笑顔で声をかけ手を振ってくれた姿は日々とても嬉しく温かい気持ちになりました。
ボランティア２名方から、「私の子供が足立学園に通っているんです」という声をかけてもらえました。
学校を挙げて応援していただきありがとうございます。

個人戦では予選リーグで負けてしまい、ペア戦では決勝戦で負けてしまい、しばらくは悔しい気持ちでいっぱいでしたが、ペア戦での銀メダル獲得により、たくさんの方からお祝いのメッセージをいただき、これまで関わった全ての皆様に対してメダル獲得という形で少しは恩返しができたことに安堵感と達成感が日に日に増してきました。
2016 年のリオパラリンピック敗戦後、「私のクラス（BC3）の知名度を上げたい、BC3 の未来を変える、そのための結果を東京で残す！」その思いでこの５年間を積み重ねてきました。
その思いでマッシュルームカットの髪型も変えることなく続けてきました (笑)
「もっと似合う髪型あるから髪型変えればー」と言われたり、「知らない人に二度見されて薄ら笑いされたり」そんな経験も過去にはありますが、メダル獲得という結果とマッシュルームカットというインパクトで少しでも多くの方にボッチャのことを知ってもらえたのであれば、それが何よりも嬉しいことで、全ては計画通りで大成功かなと！！(笑)
これからもがんばります。

これからもボッチャ火ノ玉 JAPAN をよろしくお願いいたします。
皆様、本当にありがとうございました！

高橋和樹

■東京２０２０パラリンピックでの活躍
障害が最も重いクラス BC ３のペア戦は３人が出場し、投球するのは２人。途中で選手の交代ができるルールになっている。投球台を使用し、手や口、頭などにつけた器具でボールを押し出す選手も多い。東京パラリンピック大会で日本代表は、準決勝で前回優勝のギリシャを破り、決勝では前回準優勝の韓国と対戦。第 1 エンドで３点のリードを許すも、第４エンドで高橋選手の投げたボールが味方のボールを押し込み３点を獲得。タイブレークまでもつれ込む接戦となった。惜しくも優勝には届かなかったものの、初出場で銀メダルを獲得した日本代表。BC3 ペアの３選手はおそろいのマッシュルームカットで「マッシュルームジャパン」と呼ばれる場面もあった。

東京パラリンピックで銀メダルを獲得した高橋さんはじめ、様々な分野で活躍するOBを紹介します！

イダリアン（井田 健介）さん

平成12年度卒業生　吉本興業所属 パラスポーツ芸人

埼玉県越谷市出身。吉本興業所属のお笑い芸人。東京ＮＳＣ10期生で2005年４月デビュー。現在はピン（１人）でパラスポーツについての情報発信やイベント参加などを行っている。よしもとパラスポーツ部部長。初級障害者スポーツ指導員の資格を持つ。
東京2020パラリンピックでは聖火ランナーも務めた。

YouTubeチャンネル・SNS

イダパラTV　@aikurushiiida　idalian38

井手 大喜さん

平成15年度卒業生　草加市議会議員・社会福祉法人理事

草加市市議会議員。
足立学園在学中に父が脳梗塞で倒れ、在学中から８年間、ヤングケアラー（大人が担うべき介護・ケア責任を負う18歳未満の子ども）として在宅介護を行う。大学進学後、介護をしながらの就職は無理と判断し、行政書士の資格を取得。事務所を開所する。
25歳の時に孤立しがちな介護者支援の必要性を訴えて草加市市議会議員選挙に出馬し当選。現在３期目となる。副議長、総務文教委員会委員長を経て、令和３年10月より議長を務めている。
自身がヤングケアラーだった経験から、議会活動の傍ら高齢者福祉、障害者福祉、そしてヤングケアラーについて講演活動を行っている。

奥野 友浩さん

平成15年度卒業生　コンサルタント会社　代表取締役

在学中はアメリカンフットボール部に所属。その時の古傷と仕事での無理から大ケガに繋がり一時寝たきりの生活となる。そこから復活を果たしたことで『医療は病気を治す。私は料理しか出来ないので、病気になりにくい体作りをご提供出来るお店を出そう』と強く思い、31歳の時に銀座にレストランをオープン。有機野菜を使い「食べるエステ」と女性に人気の店となる。
その後、大手ホテル運営会社の傘下に入り、幅広い業務を経験したことを武器とし、2021年コンサルタント会社を設立。多岐にわたるコンサルタント業務を手がけている。

部活動　戦績・実績

柔道部（中学）

○第 40 回東京都中学校総合体育大会柔道大会体重別選手権大会(個人)
　対抗大会（団体）
団体：準優勝<関東大会出場決定>
個人 50kg 級　優勝：中村享義 (中２) <関東大会・全国大会出場決定>
個人 50 kg級　準優勝：藤田一郎 (中３) <関東大会出場決定>
個人 55kg 級　優勝：嶋貫　蓮 (中２) <関東大会・全国大会出場決定>
個人 60kg 級　３位：奈良海人 (中３) <関東大会出場決定>
個人 66kg 級　３位：長澤毅竜 (中３) <関東大会出場決定>
個人 73kg 級　優勝：荒川琉正 (中３) <関東大会・全国大会出場決定>
個人 81kg 級　準優勝：雲井稟大 (中３) <関東大会出場決定>
個人 90kg 級　優勝：鏑木克優 (中３) <関東大会・全国大会出場決定>

○第 46 回関東中学校柔道大会
団体：優勝
　大将：鏑木克優（中３）副将：雲井稟大（中３）中堅：荒川琉正（中３）
　次鋒：宮部蓮匠（中３）先鋒：長澤毅竜（中３）
　補欠：大下真司（中３）補欠：久保智暉（中１）
個人 50 kg級　準優勝：藤田一郎 (中３)
個人 50 kg級　第３位：中村享義 (中２)
個人 55 kg級　優勝：嶋貫　蓮（中２）
個人 73 kg級　優勝：荒川琉生（中３）
個人 90 kg級　優勝：鏑木克優（中３）

○第 52 回全国中学校柔道大会
個人 50 kg級　中村享義（中２）：３回戦敗退
個人 55 kg級　嶋貫　蓮（中２）：３回戦敗退
個人 73 kg級　荒川琉正（中３）：第５位
個人 90 kg級　鏑木克優（中３）：優勝

中学バスケットボール部

○第 60 回東京都中学校総合大会バスケットボール大会兼
　第 74 回東京都中学校バスケットボール選手権大会
ベスト 16
　熊澤有廉（中３）吉野将之（中３）荒川陽成（中３）三上翔琉（中３）
　利根川拓也（中３）生沼颯太（中３）君島　滉（中３）浅野　蒼（中３）
　町田　琉（中３）中川原亮太（中３）佐々木聖輝（中３）松尾　怜（中２）
　石井伊吹樹（中２）黒川敢太（中２）足立颯介（中２）青木俐空（中２）
　松本琉聖（中２）長谷川湊（中２）鯨井陸椰（中２）神戸優吾（中２）
　佐久間啓嘉（中２）酒井颯磨（中２）星野　青（中２）山口主税（中２）

柔道部（高校）

○第 70 回東京都高等学校学校大会
　第 69 回関東高等学校柔道大会東京都予選会
団体：第５位<関東大会出場決定>
○第 66 回東京都高等学校総合体育大会
　第 70 回全国高等学校総合体育大会柔道競技大会東京都予選会
団体：第３位
個人 60 kg級　優勝：小野日向（高２）<全国大会出場決定>
個人 60 kg級　準優勝：宮部真臣（高３）
個人 66 kg級　第３位：天野武蔵（高３）
個人 73 kg級　ベスト８：荒井優輝（高３）
個人 81 kg級　ベスト８：鈴鹿睦月（高３）
個人 90 kg級　準優勝：北川拓実（高３）
個人 90 kg級　第３位：松本遥斗（高２）
個人 100 kg級 ベスト８：倉田将弥（高３）

○令和３年度東京都ジュニア柔道体重別選手権兼
　JOC ジュニアオリンピックカップ東京都予選会
この大会は出場するのも難しく、高校選手権予選会優勝者、関東大会予選会ベスト４・高校総体予選会ベスト８以上という条件があり、２０歳までの大学生の上位者も出場します。
その中で足立学園からは８名出場しました。
個人 60 kg級　根本海里（高３）
個人 60 kg級　宮部真臣（高３）：ベスト 16
個人 60 kg級　小野日向（高２）：第３位
　　<全日本ジュニア選手権の出場決定>
個人 66 kg級　天野武蔵（高３）
個人 73 kg級　鈴鹿睦月（高３）
個人 90 kg級　北川拓実（高３）
個人 90 kg級　松本遥斗（高２）
個人 100 kg級 倉田将弥（高３）

○第 69 回関東高等学校柔道大会
団体：ベスト 16
　小野日向（高２）松本遥斗（高２）宮部真臣（高３）天野武蔵（高３）
　荒井優輝（高３）北川拓実（高３）鈴鹿睦月（高３）

第 70 回全国高等学校柔道大会
個人 60 kg級 優勝：小野日向（高２）

1学期終業式で表彰された結果を掲載しています。その後も続々と入賞を果たしています！

卓球部（中学）

○第 60 回東京都中学校総合体育大会兼
　第 74 回東京都中学校卓球選手権大会
団体：第５位<関東大会出場決定>
（シングルス出場者）
　秋山浩慶（中３）岡野耕大（中３）細谷駿太（中３）
　髙橋惺介（中２）<関東大会出場権獲得>
　石川恵大（中２）<関東大会出場権獲得>
　髙梨俊梧（中２）田中康平（中２）藤岡眞大（中１）
　中田裕大（中１）岡崎拓海（中１）

○第 49 回関東中学卓球大会
団体：第３位<全国大会出場決定>

○第 52 回全国中学校卓球大会
団体：予選リーグ２位（敗退）
　秋山浩慶（中３）岡野耕大（中３）髙橋惺介（中２）石川恵大（中２）
　髙梨俊梧（中２）田中康平（中２）中田裕大（中１）藤岡眞大（中１）

卓球部（高校）

○第 71 回関東高等学校卓球大会
団体：ベスト１６
　原田征輝（高３）岩井大起（高３）萱橋智哉（高３）橋本崚平（高３）
　平野晴大（高２）田崎日雄吾（高２）原田尚輝（高１）中山　晴（高１）

剣道部（中学）

○第 60 回東京都中学校総合体育大会剣道大会
個人　築場虎輝（中３）：準優勝<全国大会出場決定>
個人　小澤文也（中３）：ベスト 16

○第 51 回全国中学校剣道大会
個人　築場虎輝（中３）

剣道部（高校）

○第６８回関東高等学校剣道大会
団体戦：ベスト１６
　先鋒：甲田櫂斗（高２）次鋒：藤元留佳（高３）中堅：荒井順哉（高３）
　副将：久保　陽（高２）大将：三好賢和（高３）
　補欠：木村智哉（高３）補欠：永田陽向（高３）

アメリカンフットボール部（高校）

○東京都春季大会兼第 47 回関東高等学校アメリカンフットボール大会
準優勝

高３　高橋　建多	高２　川邉　俊輔	高２小山　翼
高３　武中　虎汰朗	高２　佐藤　駿	高２福永　粋大
高３　松永　龍聖	高２　大山　祥矢	高２岡村　泰宜
高３　北野　航基	高２　スティーヴンスン太郎	高２岡田　大輝
高３　星野　秀太	高２　津村　亨哉	高２藤原　将馬
高３　上野　温正	高２　島田　雄太	高２石川　太一
高３　高橋　周平	高２　奥平　悠介	高２貝　和衛
高３　クラッセン マイケル	高２　于　鴻基	高１石黒　櫂
高３　鈴木　蓮人	高２　日下部　光	高１富田　駈
高３　石井　宏典	高２　生形　英真	高１星野太吾高３
赤松　永琉	高２　矢作　一颯	高１千葉　幹太
高３　須加　泰成	高２　石川　慎平	高１鈴木　順一郎
高３　高橋　知也	高２　大塚　汰生	
高３　鈴木　耀		
高３　山本　幹		
高３　奥村　眞礼		
高３　吉田　丈二		
高３　小森　瑛稀		
高３　長田　唯聖		

吹奏楽部

○パレス東京創立 15 周年記念 TOKYO Band Festival 2021
株式会社ヤマハミュージックジャパン賞

高３　増田 柊也	高１　源馬 向陽	中２阿部晃佑
高３　山田 純也	高１　林 佑樹	中１渡辺 匠
高３　桶谷 慎之助	高１　藤田 雄成	中１岡部 遥斗
高３　佐藤 仁哉	高１　禹 經眞	中１丸山 温輝
高３　幸田 明	中３　西 大公	中１宮 太聖
高３　中野 一真	中３　藏 良柊	中１松田　碧
高３　清水 宏行	中３　村井 千紘	
高３　岩村 大輝	中３　田中 仁	
高３　佐藤 希	中２　砂金 拓海	
高３　渡邊 千尋	中２　浦邊 倖希	
高３　横溝 悠真	中２　金子 侑太郎	
高３　村井 祐翔	中２　篠　遼音	
高２　長谷川 健	中２　半田 皓大	
高２　井上 楓太	中２　平野 太彬	
高２　浅生 昌輝	中２　坂部 敦大	
高２　山上 雄大	中２　久保 空大	
高２　壹反田 悠月	中２　渡邊 泉	

書道部・書写書道授業

○第 37 回高円宮杯日本武道館書写書道大展覧会
日本武道館奨励賞（全国表彰）
硬筆の部：倪　穎杰（中１）
毛筆の部：坂田　瞭（高２）
全国優秀団体賞：足立学園

楽宴祭 2021 ～男の花園（パラダイス）～

11月3日（祝・文化の日） 延期されていた学園祭が行われました。感染者数が減ったもののまだまだ予断を許さない状況だったため、飲食系模擬店は禁止・一般来場者は招待制と予約制・午前午後入れ替え制と今までにない形とはなりました。そんな中でも楽しそうな生徒の顔が見られてホッとしました。ステージ企画や発表などはしっかり録画しましたので、後日編集したものを YouTube の足立学園チャンネルにアップ予定です。ぜひご覧ください。

実施されるのか否かわからないうちから準備を始め、ギリギリまで開催可否に焦れ、例年とは違う運営を任された学園祭実行委員の生徒たち。本当によく頑張ったと思います。お疲れ様でした。

編集後記

◆毎年、足立の教育を作成していくなかで、いつも見ているはずの足立学園に知らなかったこと、気づいていなかったことがあったことに気づかされます。特に今年はコロナ禍でオンライン授業の期間があったり、皆で集まる機会を減らしたり、行事を様々な形で人の数を分散して行ったりして、自分の周りの人のことがわかりにくい面がありました。この足立の教育を手に取ってくださった方が、足立学園生の頑張っている様子や足立学園自体が何を考えて教育活動を行っているかなど、少しでも目に浮かぶようになってくだされば、大変幸いです。最後になりますが、原稿の作成にご協力頂きました皆様に改めて御礼申し上げます。（入試広報部 高ＩＤ組担任 堂添）

◆娘を出産からの復帰後はじめての足立の教育。締切まで時間がない中、原稿など、ご協力いただきました先生方ありがとうございました。THIS VERY DAY のインタビューでは LITORY 平田社長にも大変お世話になりました。Yuji さん、Ryoga さんのキラキラと輝く瞳を見ていて私も何か挑戦してみようという気持ちになり、11月に色彩検定 UC 級を受験しました。学んだ内容を今後の足立の教育編集にも活かしていければいいなと思うこの頃です。（入試広報部 データ処理室 八重樫）

足立学園の情報はこちらもご覧ください。

https://www.adachigakuen-jh.ed.jp/　足立学園チャンネル　@ adachigakuen_jh　adachigakuen.jh

足立の教育　第53号　2021年12月発行　足立学園中学校・高等学校　広報部　☎ 03-3888-5331㈹

この冊子の内容、テキスト、画像等の無断転載・無断使用を固く禁じます。

印刷：スリーブレイン株式会社